

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和3年10月6日

①学校名:	大東文化大学	②所在地:	東京都板橋区高島平1-9-1		
③課程名:	観光歴史ガイド養成プログラム	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2022/10/1
⑥責任者:	文学部教授 宮瀧 交二	⑦定員:	30名	⑧期間:	6カ月
⑨申請する課程の目的・概要:	本プログラムで養成する「観光歴史ガイド」は、既に観光地化している神社仏閣や名所旧跡のみならず、国内外のあらゆる場所を、「歴史研究の成果を観光を通じて社会に還元する歴史学(観光歴史学)」の観点から、広く調査・研究し、新たな観光地としての魅力を引き出すという社会的使命を持つ存在である。現在、日本各地の観光地や史跡、博物館等においては、ボランティアガイドをはじめとする様々なガイドスタッフが、その案内・解説を担当している。しかしながら、その養成については、各自自治体や施設の判断に委ねられており、基本的なカリキュラム等は共有されていない。そのような中、大東文化大学文学部歴史文化学科が文部科学省の認可を得て設置している「観光歴史学コース」のカリキュラムはこうした場所で活躍する「観光歴史ガイド」の養成にも役立つものであり、この機会により多くの社会人に対して提供し、大学の社会貢献の一助としたい。				
⑩4テーマへの該当の有無	地方創生(地域活性化)	⑪履修資格:	学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有し、就労中または就労経験のある社会人		
⑫対象とする職業の種類:	旅行・観光案内業、経営企画業、マーケティング業、地方公共団体職員、学芸員等				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ①地域の図書館や博物館、教育委員会等を十二分に活用して地域の歴史や文化に関する情報や知識を調査・研究する能力 ②①から得られた成果を、実際の観光の現場で旅行者等にわかりやすくプレゼンテーションする能力		(得られる能力) ・文化遺産の活用に必要な企画力 ・地域における埋もれた文化資産を再発見する能力 ・歴史や文化を紹介する語学力		
⑭教育課程:	大きく3つに分けてカリキュラムを構成している。 ①基礎教育課程・・・歴史研究の成果を社会に観光を通じて還元する「観光歴史学」という学問体系について基本的に学ぶ。「観光歴史学概論」、「観光歴史学実習」 ②実践教育課程・・・想定される様々な「観光歴史学ガイド」について実習する。「史跡ガイド実習」、「博物館ガイド実習」 ③応用課程・・・①、②を実践するにあたって不可欠な知識・技術を補う。「歴史地理学概論」、「図書館における地域史調査法」、「観光英語入門・初級」				
⑮修了要件(修了授業時数等):	全60時間の履修及び資格認定試験の合格による修了認定(ただし、出席時間が総授業時間の4/5に満たない場合、資格認定試験を受けることはできない)				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書・(大学独自資格)観光歴史ガイド				
⑰総授業時数:	60 時間	⑱要件該当授業時数:	56時間	⑲要件該当授業時数/総授業時数:	93%
⑳成績評価の方法:	出席状況、LMSを利用した小テスト、レポート、筆記試験の成績を総合的に判断する。				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。「リカレント教育運営委員会」において、本プログラムの成果の検証や評価を行う。また、当該検証・評価結果についてはホームページにおいて公表する。				

②修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対し、事後調査を実施し、その結果を分析することにより効果を検証する。
③企業等の意見を取り入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成)          本学が委嘱した企業等の委員と本学委員により構成される「大東文化大学職業実践力育成プログラム推進協議会」を開催し意見を取り入れる。</p> <p>(自己点検・評価)          「大東文化大学職業実践力育成プログラム推進協議会」に出された意見、並びに受講者アンケートを分析することにより、自己点検を行う。</p>
④社会人が受講しやすい工夫:	LMSを活用したeラーニング、土・日・祝日のみの通学で修了可能な開講スケジュール
⑤ホームページ:	(URL) <a href="https://www.daito.ac.jp/reserch/recurrent-edu/">https://www.daito.ac.jp/reserch/recurrent-edu/</a>